

# NEWS

## サーキュラーエコノミー型ビジネス創出研究会 ビジネスセミナー報告

- ・日 時：令和4年7月13日（水）午後1時30分
- ・場 所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）  
5階 小ホール2（名古屋市中村区）
- ・主 催：愛知県  
環境パートナーシップ・CLUB

愛知県では、先導的な循環ビジネスの振興を支援するため、産業廃棄物税を活用し、環境パートナーシップ・CLUB（略称：EPOC）と共同で、「循環ビジネスセミナー」を毎年開催しています。

今回のセミナーは、「サーキュラーエコノミー型ビジネスへの転換を目指して」をテーマに開催し、企業がサーキュラーエコノミーへ移行する意義についての講演とパネルディスカッションを行いました。

開会の挨拶後、基調講演が行われ「なぜ企業がサーキュラーエコノミーに移行すべきなのか」と題し、（一社）サーキュラーエコノミー・ジャパン代表理事 中石和良氏が講演しました。

次に、「サーキュラー型ビジネスモデルのためのバリューチェーン連携・協働について」と題し、パネルディスカッションが行われ、パネリストとして参加された当協会員の（株）ダイセキ代表取締役社長の山本哲也氏はパネリスト略歴内で、『製造業を中心とするお客様と所轄行政のご協力・ご支援を得て、有害廃棄物を含む特別管理産業廃棄物の許可取得・処理体制整備や、産業廃棄物リサイクルによる「（埋め立て廃棄物）ゼロエミッション」、「カーボ

ンニュートラル」の実現に「限られた資源を活かして使う＝ダイセキ」として取り組み、平成26年度「静脈産業一体型の産業構造の構築に関する戦略検討会（経済産業省）」に委員として参加』と紹介されていました。（略歴につきましては配布資料一部引用）

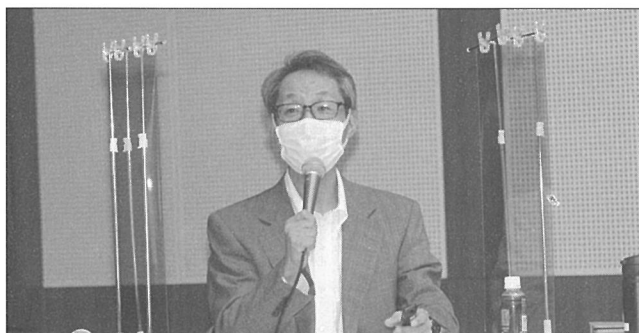
山本社長はパネリストとして、「産業廃棄物リサイクルとサーキュラーエコノミー」と題して、以下の内容について述べました。

1. ダイセキ～産業廃棄物リサイクル～
2. ダイセキとサーキュラーエコノミー（CE）
3. ダイセキのCE型リサイクル
4. CE型廃棄物リサイクルの「ポイント」  
※バリューチェーン全体での連携・協働の仕組み
5. CE型廃棄物リサイクルに向けて  
※バリューチェーン全体での連携・協働の仕組み

中でも、2では、サーキュラーエコノミーとは、サークル＝輪×エコノミー＝経済（循環する経済）と説明され、ダイセキが行うサーキュラーエコノミーとは、“埋め立て廃棄物のゼロエミッション”、“カーボンニュートラルのための燃料リサイクル”、“サーキュラーエコノミーのためのCE型リサイクル”を提案し、CEで4つの無駄（資源の無駄、キャパシティ（能力）の無駄、ライフサイクルの無駄、潜在価値の無駄）をなくすとのことです。また、4の「ポイント」とは、CE型リサイクルがビジネスとして成り立つために必要な要件が、利用用途（二次原料が再び製品原料として利用される用途が必要）、品質（二次原料として使用できる品質の確保が必要）、コスト（ビジネスとして成立するためにはコスト条件をクリアする必要）、取扱量（リサイクル＝装置産業 設備に見合う原料集荷が必要／安定した需給バランスが必要）であるとのことです。最後に、

「限られた資源を使う」  
ダイセキ×サーキュラー・エコノミー  
「知恵と工夫と行動力+a」で！

とまとめられました。



パネリストとして発表する（株）ダイセキの山本社長